

新設小学校 説明会

平成29年12月16、17日

①人口推移について

- ・流山市の人口推移
- ・小山・おおたかの森小学校区の見童数 推移

②今後の見童生徒数について

- ・見童・生徒数推計及び想定値

③建設候補地について

新設小学校 通学区区域(案)

④素案 8案について

⑤素案をもとにした3案について

⑥通学区区域(案)について

市内全体の人口推移



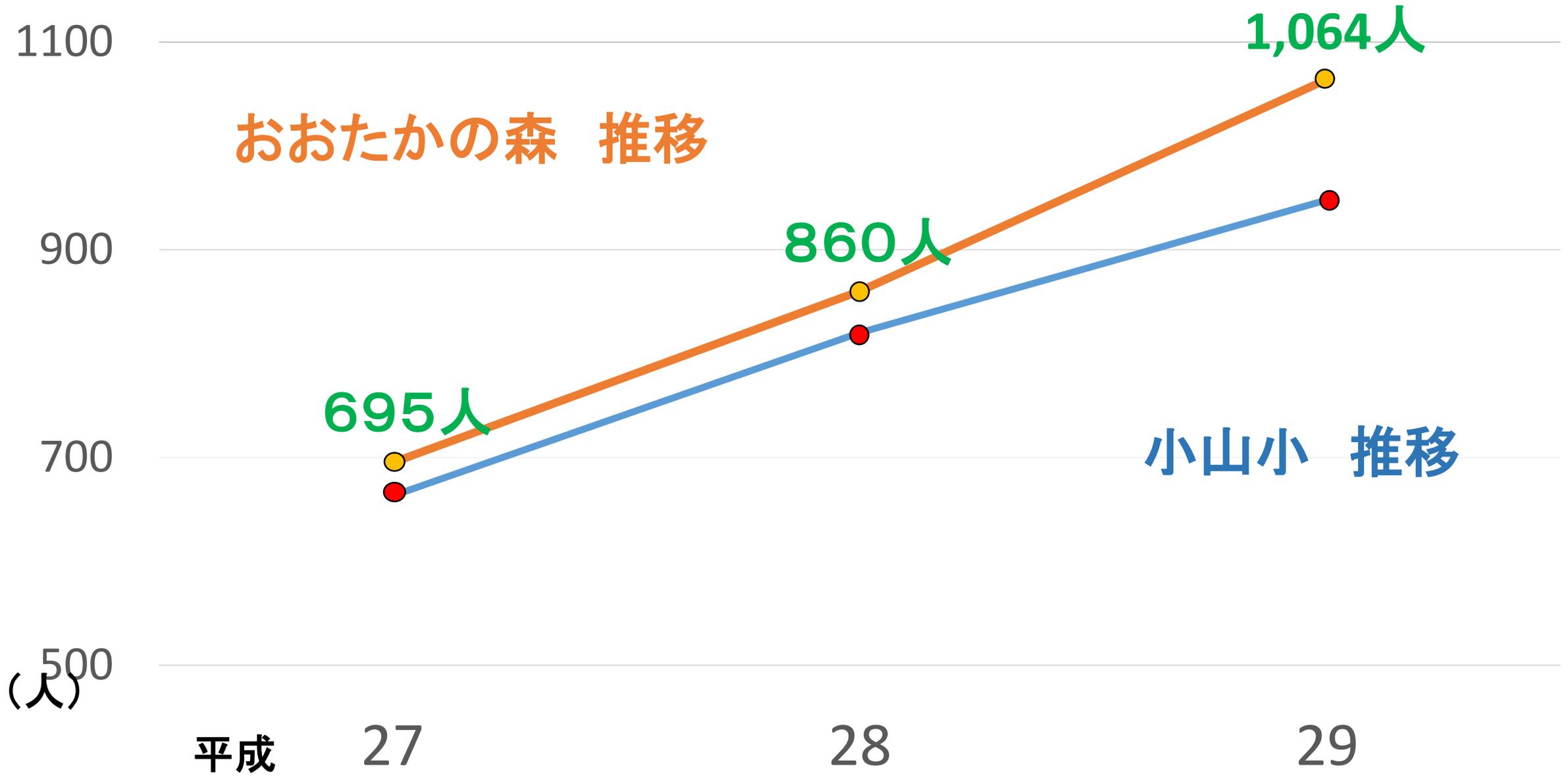
新設校
開校

H33

小山小学校の児童数推移

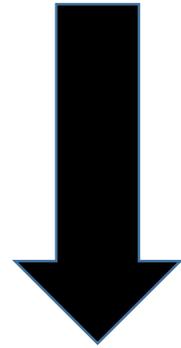


おおたかの森小学校の児童数推移



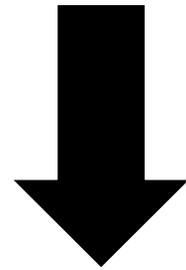
児童・生徒数推計 及び想定値について

今後の児童数の増加傾向を
予想・検証



児童生徒数の推計及び想定値

H29年度の児童数

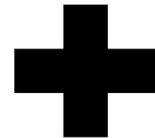


各学校の在籍者数

H30年度以降の児童数

住民基本台帳登録者数

(既に流山市に住民登録のある子どもの数)



今後予測される増加見込み数



建設予定のマンション、
予想される戸建て住宅数から算出

増加見込み数 マンション

過去のマンションの入居実績

↳ 総戸数の約**57%**の子どもが出現
うち、約**66%**が1～3歳児

(例)総戸数400戸のマンションが建設

⇒ **228人(57%)**の子ども(1～12歳児)が出現
うち、**150人(66%)**は1～3歳児

増加見込み数 戸建て住宅

新市街地地区
未整備面積

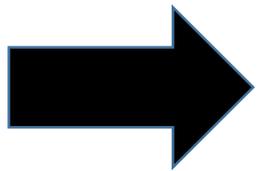
÷

戸建て住宅建築最少面積
(135m²)

最大建築発生個数

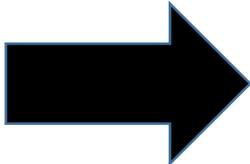
今後予測される
戸建て住宅の最大数

5年間で全ての戸建て
が建設されると仮定



増加見込み数 戸建て住宅

最大建築発生個数



今後予測される
戸建て住宅の最大数

5年間で全ての戸建て
が建設されると仮定

未整備面積135,000m² 5年間均等に入居が進むと仮定
発生する総戸数:1000件
⇒ 年間200件の戸建て住宅
内、1～3歳児は123人(61.6%)出現

(例)

学級数について

学級数編制基準(千葉県)

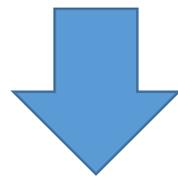
1～3年生	35人	1学級
4～6年生	38人	1学級

学級数編制基準(国)

1年生	35人	1学級
2～6年生	40人	1学級

児童数増加の傾向と要因

多数の大型マンション建設
区画整理地における戸建て住宅建設の集中
商業地域に居住系マンションの建築



定期的な児童・生徒推計及び想定値の検証

推計値

想定値

H29年度

H30～32年度

H33～35年度

より実数に近い

不確定要素が多い

小中学校校舎増築における
文部科学省の国庫補助事業
調査対象期間

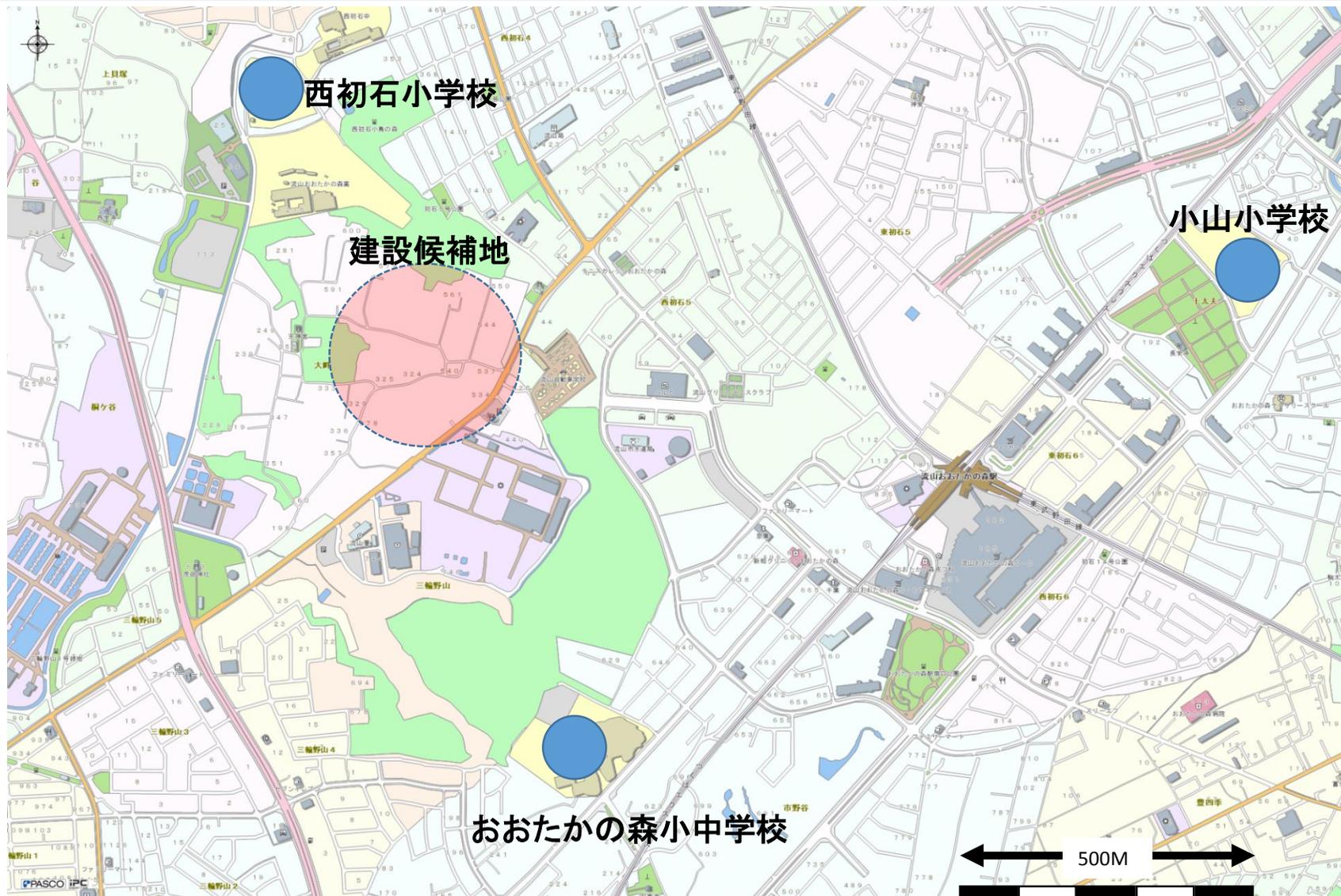
区画整理地内の整備速度
共同住宅(マンション等)の
開発計画

今年

3年間

3年間

新設小学校建設候補地



学校規模

学校教育法施行規則第41条

小学校の学級数は、12学級以上18学級以下を標準とする。ただし、地域の実態その他により特別の事情のあるときは、この限りでない。

義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令第4条

適正な学級規模

「学級数はおおむね12学級以上18学級まで」

学校規模

区分	学級数	(参考) 6学年で均等割りした場合
適正規模校	～24学級	1学年 4学級
大規模校	25～30学級	1学年 4～5学級
過大規模校	31学級～	1学年 5学級～

平成29年度児童・生徒推計及び想定値

小山小学校

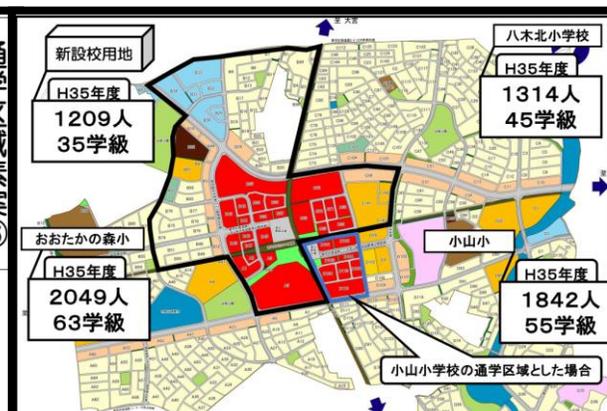
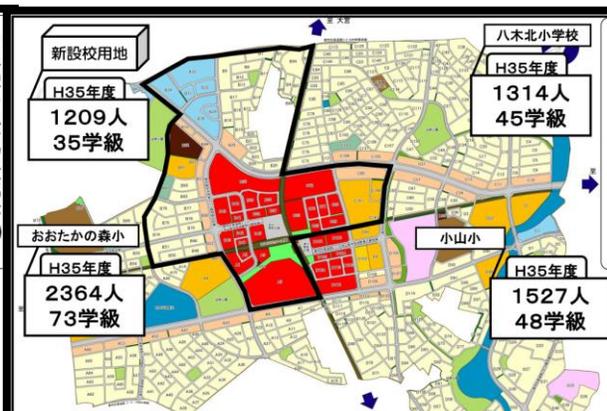
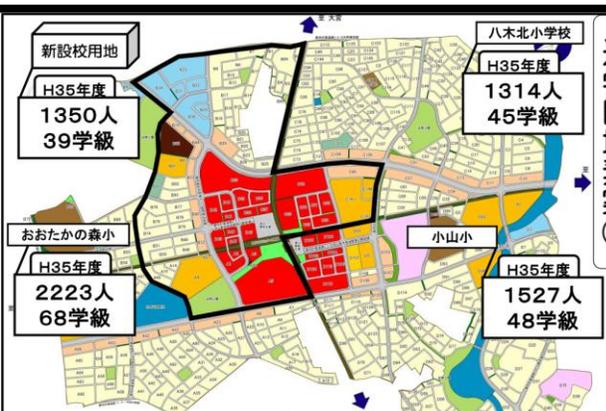
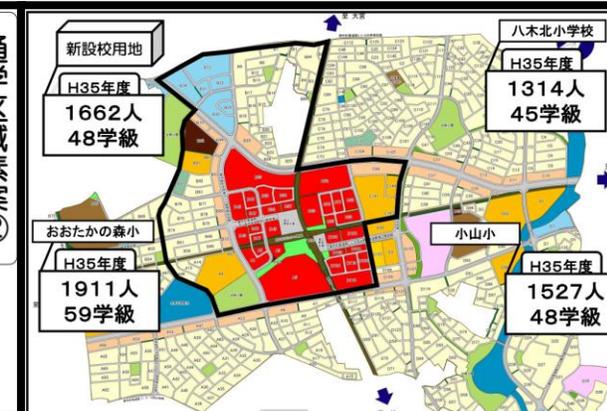
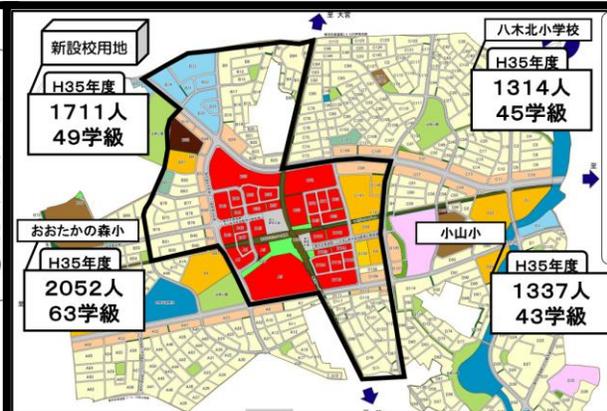
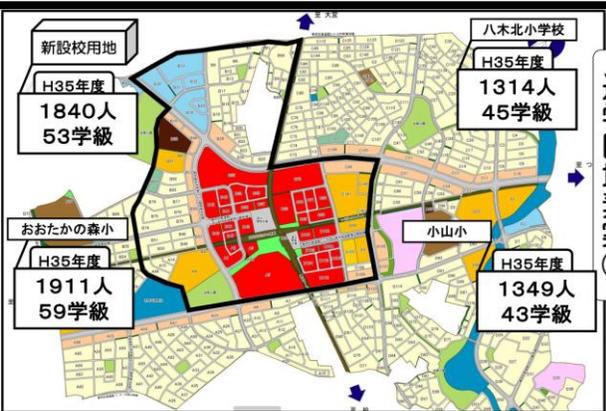
※H29年度4月当初の推計

	H29	H32	H35
児童数	948	1,496	2,110
通常学級数	30	44	60
特別支援学級数	2	2	2
計	32	46	62

おおたかの森小学校

	H29	H32	H35
児童数	1,049	1,755	2,990
通常学級数	32	51	85
特別支援学級数	3	3	3
計	35	54	88

新設小学校通学区区域 8つの素案を作成



8つの素案作成



児童生徒数推計及び想定値における
増加見込み分を精査

教室不足の見込み・学校規模（概ね48学級）
・各学校の児童数のバランス・教室数・
通学距離等



3案を作成

3案の①

西初石小学校

H35: 1541人46学級

小山小学校

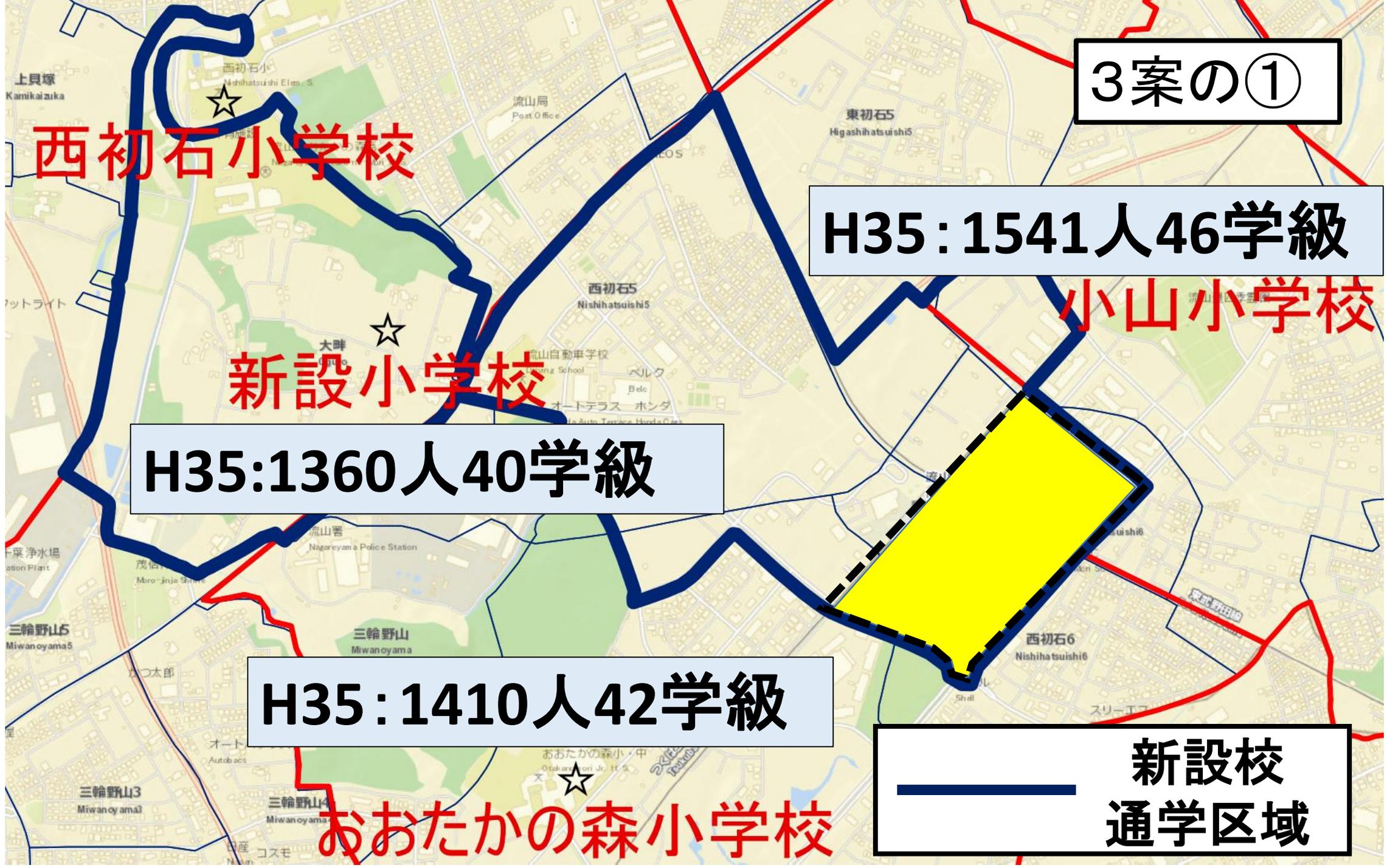
新設小学校

H35:1360人40学級

H35: 1410人42学級

おおたかの森小学校

新設校
通学区域



3案の②

H35 : 1541人46学級

西初石小学校

小山小学校

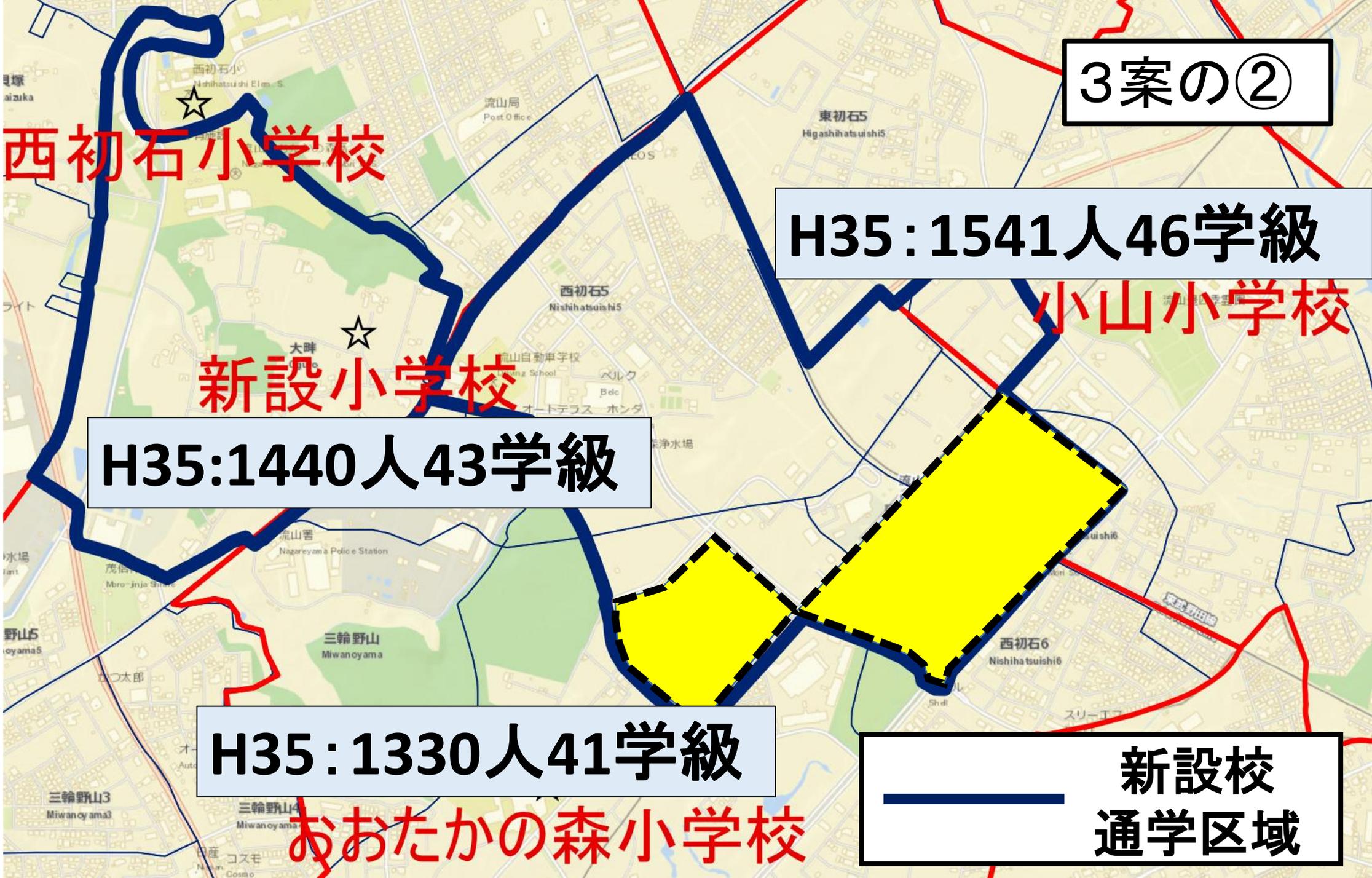
新設小学校

H35:1440人43学級

H35 : 1330人41学級

おおたかの森小学校

新設校
通学区域



3案の③

西初石小学校

H35:1270人37学級

H35:1541人46学級

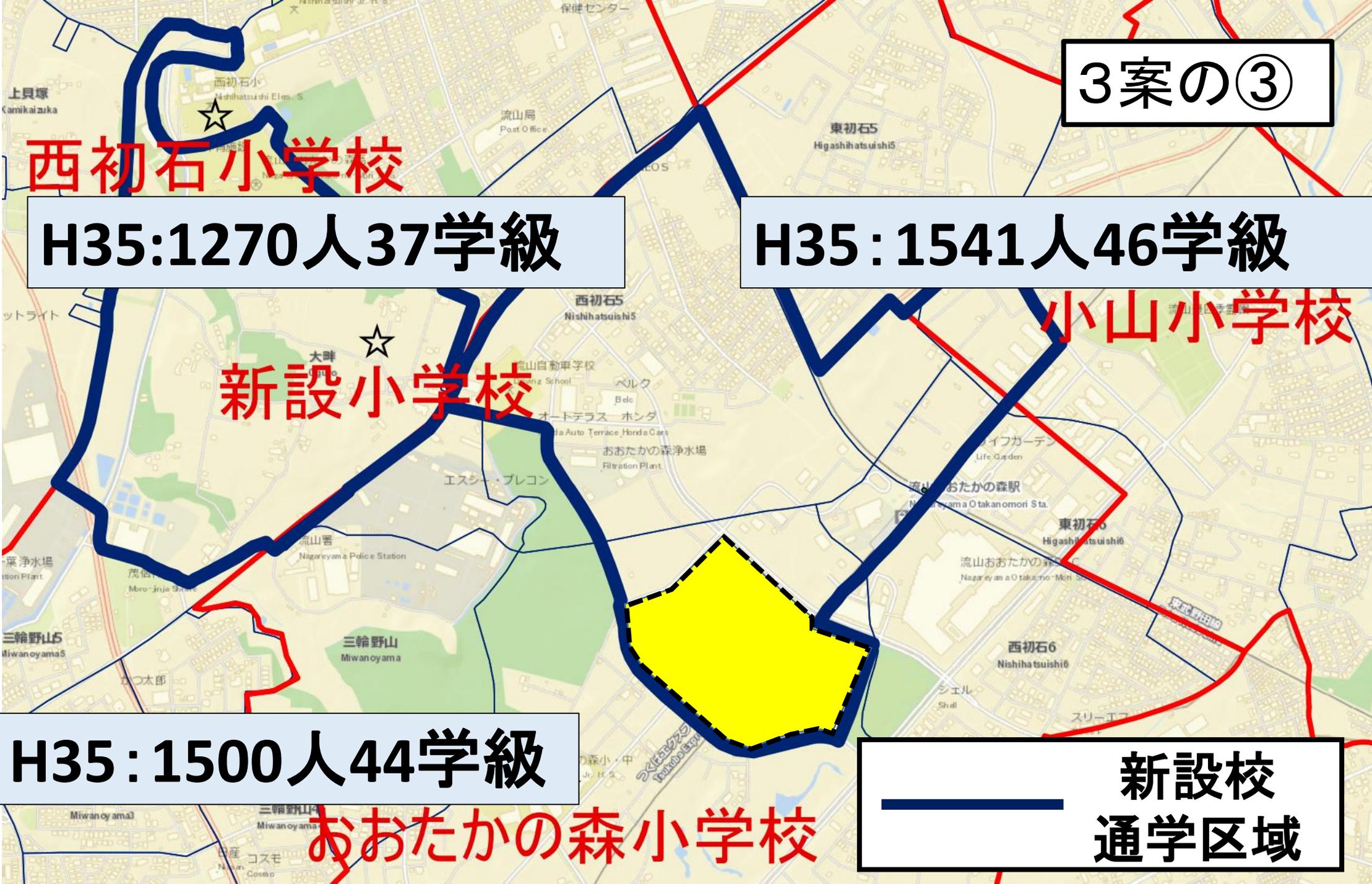
小山小学校

新設小学校

H35:1500人44学級

おおたかの森小学校

新設校
通学区域



3案の①

八木北小学校区

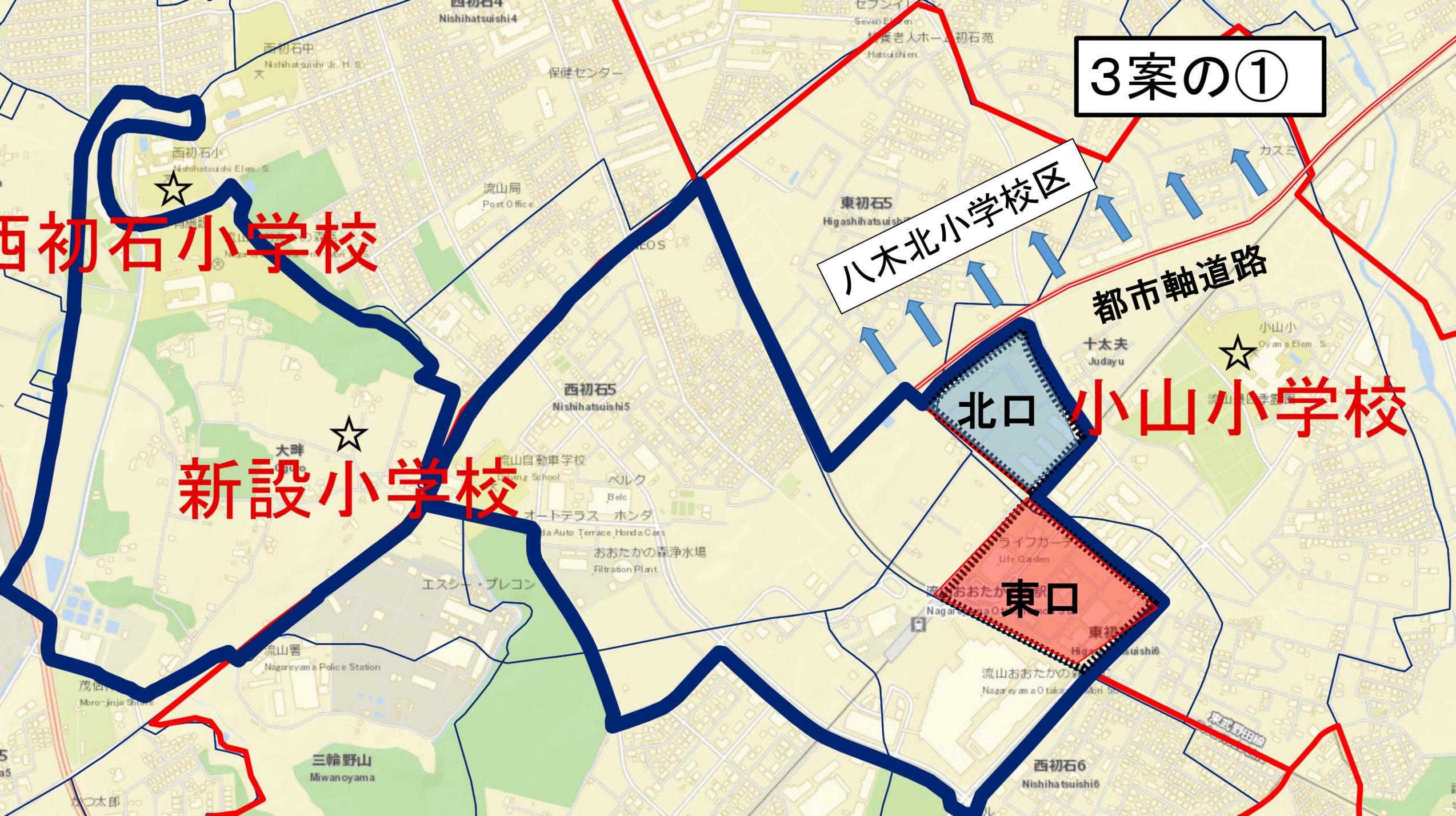
都市軸道路

西初石小学校

新設小学校

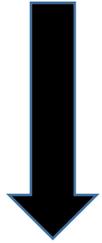
北口 小山小学校

東口

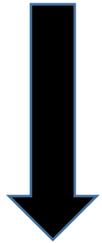


新設小学校通学区区域 案 作成経緯

①8つの素案について 教育委員会内で地域ごとの児童数等を確認しながら新たに3案を作成



②3案について(第4回・5回通学区区域審議会検討案)



①案を基本として検討を進めていく。
(第5回審議会)

③1案の付帯条件等について 第6回通学区区域審議会



八木北小学校校区

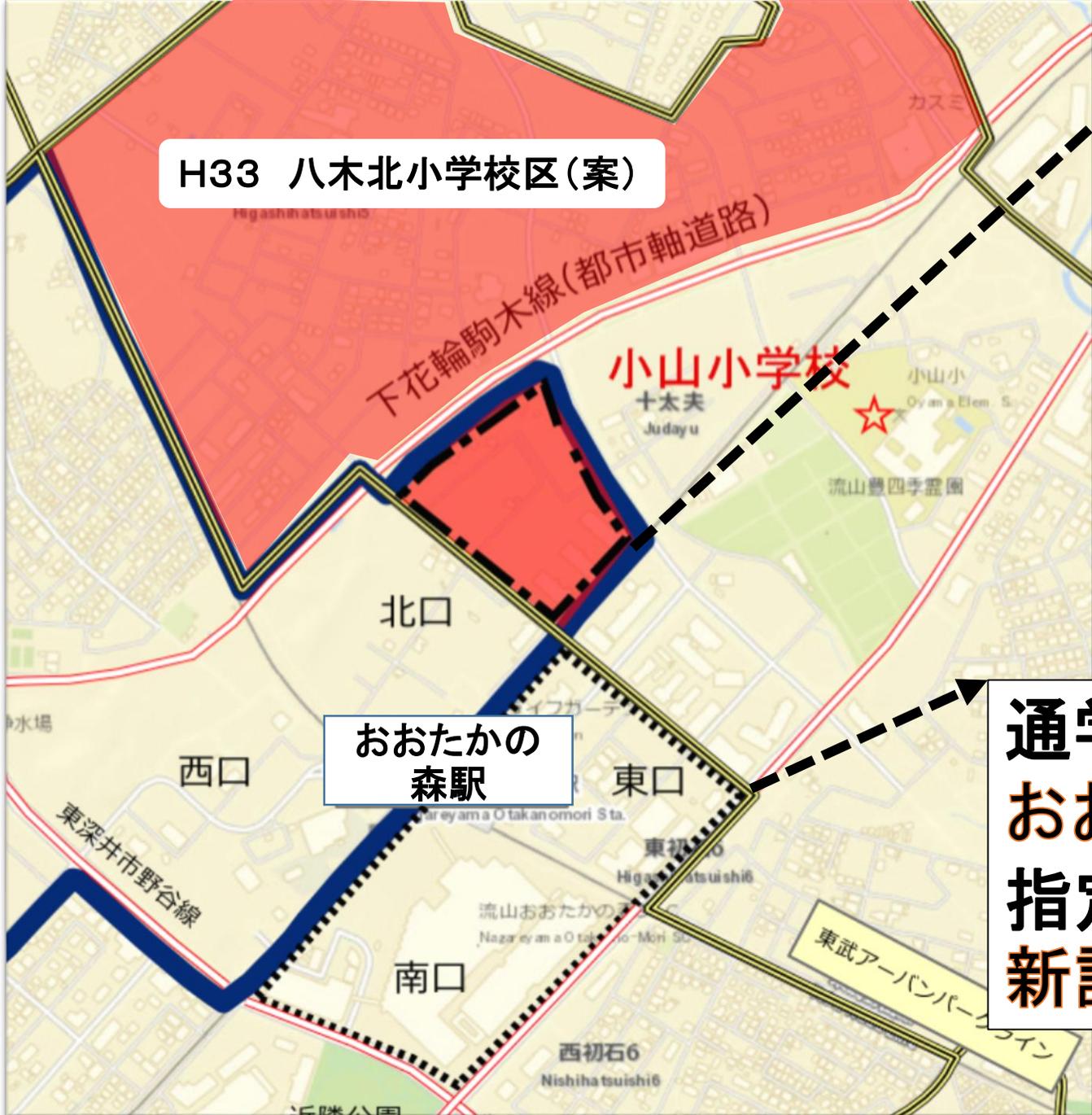
- ・予定開校年度
平成33年4月

- ・対象者
新設校開校時に通学区域内に
居住している児童



おあたかの浄水場
Kisono Plant
エスシー・プレコン
西口
東口
流山おおむかの森駅
Utsunomiya Otakonomori Sta.

- ・建設候補地: 大畔にお住まいの方
現在の指定学校である西初石小学校への
入学・就学は可能



H33 八木北小学校区(案)

おおたかの森駅

通学区域
新設小学校
対象
H33年度の1年生から

通学区域
おおたかの森小学校
指定学校変更手続きにより
新設小学校へ就学可能

より詳細な児童数・教室数はお手元の資料に掲載してあります。

新設小学校通学区域 (案)

八木北小学校区

1,314人
40学級

1,083人
35学級

新設小学校

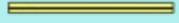
小山小学校

1,541人
46学級

1,668人
48学級

おおたかの森小学校

流山北小学校区

-  新設校通学区域案
-  現在の通学区域
-  新設校許可地域
-  H33年度入学者から変更

0 50 100 200 300 400 500

今後概ね48学級を超える可能性のある学校について(検討内容)

①千葉県から国の学級編制基準に変更

②担任サポート教員(仮称)の配置

新設校

平成30年3月末から延期



西初石方面

至大宮

東初石方面

北口

おおたかの森駅

西口

北口

南口

東口

東口駅前線

加市野谷線

大群美田線

下花輪線

水道局

HONDA

山井市野谷線

新設校

西初石方面

至大宮

東初石方面

平成30年3月末から延期

おおたかの森駅



建設スケジュール

	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	4月
設計業務		基本計画	造成設計 基本設計	実施設計					開校
工事					造成工事	建築・電気設備・機械設備・外構工事			

学校施設の目指すべき姿

流山市学校施設の個別施設計画(平成28年3月)より

確かな学力の育成ときめ細やかな指導を実践する教育環境の整備(学習空間の充実)

- ・個に応じたきめ細やかな指導の充実を図り、児童生徒に基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させるため、担任、学校サポート教員、算数・数学学習指導員等による少人数授業やチームティーチングなど、多様な学習展開に対応する施設整備を進める。
- ・また、グローバル社会に対応した教育の推進(英語力、コミュニケーション力等の育成)やICTを活用した授業の推進のための環境を整備する。
- ・さらに、児童・生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じ、必要な支援を行う特別支援教育に対応した施設設備を図る。

豊かな心と健やかな体を育成する安全な施設環境の実現(生活空間の充実)

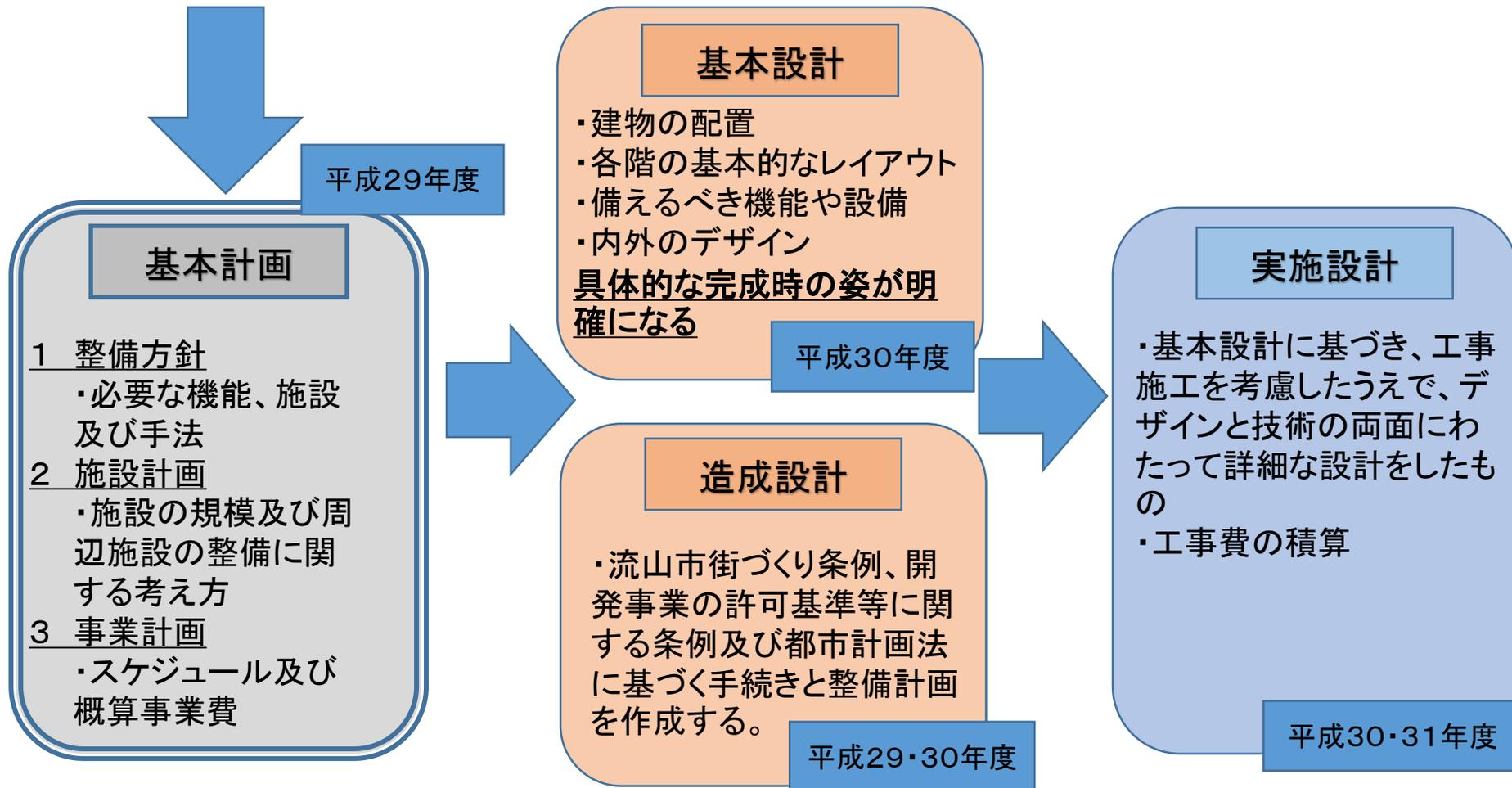
- ・児童・生徒が安心して有意義な学校生活が過ごせるよう、防犯や施設の安全など安全性に配慮した施設整備を図ると共に、障害の有無に関わらず安心して施設を利用できるようユニバーサルデザイン化を目指す。
- ・また、豊かな人間関係づくりや情操の涵養、体力向上を推進するための空間作りを工夫する。
- ・さらに、地球環境に配慮し、持続可能な社会の実現のため、断熱性能の向上、LED照明や人感センサー付き照明の導入、校内緑化の推進等を進める。

地域と共に歩む拠点としての施設整備(地域との連携の充実)

- ・家庭、地域とのネットワークを形成し、学校教育活動を支えるPTA、学校サポートボランティア等の活動の場として位置づける。
- ・また、児童の放課後の居場所、地域の生涯学習の場として、学校を利用することを考慮する。
- ・さらに、地域の防災拠点、避難所としての役割を担う施設として整備を進める。

基本計画、基本設計及び実施設計について

学校施設の目指すべき姿



基本計画検討(案)

項目		非木造	木造
整備方針	構造・階数	鉄筋コンクリート造・3階	木造・3階
	機能・施設	学校教育法及び小学校設置基準等による。 ・想定学級数:47学級(平成33年度38学級、平成35年度47学級を想定) ・附帯施設:プール(25m×6コース)、学童クラブ:約1,000㎡ ・ その他、小学校に求める機能・施設	
施設計画	延床面積 校舎+給食室 +屋内体育館	約13,100㎡	
	周辺施設	流山市開発事業の許可基準等に関する条例及び協議による。	
事業計画	校舎建設費 (H29.4現在)	約48億円	約48億円
	補助金目安	約11.6億円 (約+0.9億円) 〈多目的割増〉	約12.2億円 (約+1.5億円) 〈多目的+木造割増〉
	概算事業費	総事業費 (今後の施設計画による。) 校舎建設費(建築、機械、電気)、学童クラブ建設費、 児童センター等建設費、造成工事費 (校地造成、外構)、エアコン設備、給食設備	

※上記については、今後の児童推計及び基本計画策定の過程で変更する場合があります、現時点で確定されたものではありません。

非木造の校舎の事例 1



流山市立小山小学校



非木造の校舎の事例 2



流山市立おおたかの森小中学校



木造の校舎の事例 1

<参考>

木造建築のすすめ 木を活かす建築推進協議会 平成21年11月
こうやって作る木の学校 文部科学省 農林水産省 平成22年5月
全国に広がる木の学校 文部科学省 平成26年7月



「全国に広がる木の学校」より



「こうやって作る木の学校」より



「木造建築のすすめ」より



「こうやって作る木の学校」より



「木造建築のすすめ」より



「鹿沼市立栗野小学校HP」より



「こうやって作る木の学校」より



「こうやって作る木の学校」より



八木中学校武道場

「全国に広がる木の学校」より

木材を活用した学校施設づくりの潮流

- 平成19年 文部科学省「早わかり木の学校」手引書の作成
- 平成22年 「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」の制定
- 平成27年 建築基準法改正による3階建て校舎に対する耐火要件の緩和
- 平成28年 文部科学省「木の学校づくり 木造3階建て校舎の手引き」の作成

➡木造で作りやすい法改正や交付金事業の拡大

□「木の学校づくり」パンフレット文部科学書HPより抜粋



□羽黒学園



□西白山台小学校



□栄光学園

平成29年に竣工した大規模木造建築

小学校としての学習生活環境と敷地周辺環境との調和

- ・児童気持ちを受止める木質感あふれる空間
- ・森に囲まれた環境と調和した地域のシンボル

地域や地球の環境に配慮した計画の推進

- ・Co2を削減する社会づくりを目指した計画
- ・循環型社会を目指した計画

➡**周辺環境や社会的動向も踏まえ、
構造や内装に木を使う、「木の学校づくり」を提案します。**



□鳥瞰イメージ